



うんしん(蘊真)

学び
ふれあい
伸びゆく芙蓉



今回の学校だよりは、文化発表会、蘊真（うんしん）、少年の主張大会、お知らせ、よかねえ佐賀弁です。

文責 校長 杠

令和7年度芙蓉校文化発表会『空』～光り輝く太陽のような未来の景色～ 伝統の芙蓉校全校合唱「いのちの歌」

10月31日（金）、芙蓉校文化発表会を開催しました。小学部85名＋中学部39名＝芙蓉っ子総勢124名の全力発表に、ただただ魅了され、芙蓉校体育館が感動に包まれました。例年に比べ大変多くの保護者様、地域の方々にも御参観いただき、いつもにも増して子どもたちはキラキラと輝いていました。改めて、感謝申し上げます。ありがとうございました。

★展示発表 …1年生から9年生までの、日頃の授業の成果等、芙蓉校全校児童生徒の力作が並びました。最後まであきらめずに完成させた制作者の思いがしっかりと込められている作品ばかりでした。全校アート「文化発表会テーマ」は、一つ一つのパフォーマンスに込められた思いが空に届きますように！今までの努力が実り、みんなの心に新しい光が差し込む素晴らしい一日になりますように！との願いが込められた温かな素晴らしい作品となりました。

★ステージ発表…無限に広がる空へ、みんなの思いが届いてほしいと飛ばした紙飛行機。各学年の発表は、5年生こそコメ問題の救世主と思わせるものでした。1・2年生は修業を積み、みんなで立派な忍者になりました。3・4年生には蓮池の伝統芸能の後継者として役を、安心して任せることができます。6年生は本当の平和について訴えかけ、伝えていくことの大切さを教えてくれました。7・8年生は礼儀や言葉遣いが夢を叶える一助になることを劇にして表現しました。そして、9年生劇。「いじめ・いのち」という難しいテーマを投げかけ、見ている誰もがいつの間にか劇中の一人として考えさせられていました。中学部混声3部合唱「空」。素晴らしいの一言、豊かな歌声に心が震えました。吹奏楽部の演奏は美しいハーモニーで、時間をかけて作りあげた響きに感動しました。最後は、芙蓉校伝統の全員合唱「いのちの歌」。歌った、そして聴いただれもが芙蓉の一員としての誇りを実感したことだと思います。これらはきっと、これからもずっと後輩たちが引き継いでくれると信じます。

「いのちの歌」の中に、「めぐり会えた奇跡は、どんな宝石よりも 大切な宝物」という歌詞があります。私は、奇跡は起きるからこそ、起きてきたからこそ、奇跡という言葉が存在するのだと思っています。「生まれてきたこと 育ててもらえたこと 出会ったこと 笑ったこと そのすべてにありがとう このいのちにありがとう」。こんなにも感動をくれた芙蓉校のみんなに心からありがとうを伝えたいと思います。そして、この文化発表会を創ってくれた全ての人に、ありがとうを伝えたい気持ちでいっぱいです。

芙蓉の空には、未来の景色が確かに輝いています。芙蓉の子どもたちの未来の景色がさらに光り輝くように、今後とも子どもたちと一緒に進んでいきたいと思っています。これからも、御理解と御協力よろしくお願いいたします。

そうか！奥義「蘊真」天高く馬肥ゆる秋に蓄えた体験を経験に変え、自らの力とする！！

秋高气爽の秋が静かに終わりを告げ、11月に入りました。11月は「霜月」とも呼ばれます。秋の高い空が、さらに澄み切った透明感をもつ冬の空へと移り変わります。霜の便りはまだでしょうか？朝晩の冷え込みに気持ちが引き締まる思いがします。冬の準備のスタート、防寒着等の準備をどうぞよろしくお願いいたします。

先に紹介しましたが文化発表会に向け、子どもたちはたくさんの準備と練習と積み重ねていました。それぞれの活動を通して体感した感動は、子どもたち自身の体験であるからこそ、何物にも代えがたく、子どもたち自身をダイレクトに刺激し、子どもたちの内にしっかりと蓄積されていると思います。そして、その感動は、子どもたちの将来を大きく変える力をもっているかもしれません。感じたこと、疑問に思ったことを、どのように自分のものとし、これからに生かすか、しっかりと考え、次の行動に移してほしいと強く願います。

さて、先日の出来事を一つ紹介させてください。私が、ある審査会に参加した際、他の審査員の方々と名刺の交換をしていました。私の名刺の裏には、「蓮池藩」という文字と「蘊真」の意味を載せています。「まさに奥義ですね!!」。それを見てくださった薩摩琵琶奏者の北原 香菜子（きたはら かなこ）さんの一言です。そうか！「蘊真」は我々の奥義だ!!と大きく納得しました。「奥義」、なんとしっくりくることか。「学問の神髄・心理を尋ね、武徳の奥義、秘伝を練るために、勉学と鍛錬を怠るな」。1・2年生に習い、忍者の修業を試みたくなりました。

思いを主張すること蓮池校区少年の主張大会

11月9日（日）に、蓮池校区少年の主張大会が開催されました。代表の4名は、取り上げた内容について自ら問いをもち、自分自身また自分の具体的な体験などと結び付けて主張してくれました。大変力強く、心から感動しました。

思いを自分の言葉で、誰かに伝えようとする時、とても大きな勇気が必要です。自分の思いのままに伝わるか大きな不安もあったことと思います。それを乗り越え、たくさんの勇気を出し多くの人の前で発表してくれたことに、大きな拍手を贈りたいと思います。そして、芙蓉校の子どもたちには、これからますます鋭い感覚をもち新鮮な感動をし、新しい情報や視点を取り入れることのできる力、また、説得力のある共感や感銘を与えることのできる力を伸ばしていってほしいと思います。

●タブレットPCで、電子図書館を利用することができます。子どもたちが毎日持ち帰っている一人一台端末で、電子図書館を利用することができます。デスクトップに電子図書館のショートカットが配信されています。ショートカットを開くと、トップ画面のお知らせに、「佐賀市立の小中学校に通学している皆さんへ」とログイン方法が掲載されています。新刊もたくさん入っていました。朝読向きの本の紹介もあります。デジタル図書として、読むだけでなく、読み上げ機能を利用して、聴く本としての利用もできそうです。保護者様もお子様と御一緒に、ぜひ一読されてみては、いかがでしょうか。

※他の人にIDやパスワードは、絶対に教えないようにしてください。



よかねえ
佐賀弁

今号は「き」で始まる言葉です。「きゅーのしゃーはきゃーんしゅー」この意味、分かりますか？

① きつか、きゃーなえた

② きゃー

③ きゅー

日今 ⑤ 旨 ② ずいぶんいいき ①

次号は、12月の行事予定を掲載する予定です。